

普及活動情勢報告（令和6年1月分）

中央西農業振興センター農業改良普及課

土佐市の担い手確保に向けて ～高知暮らしフェアに参加～



12月16日、17日、東京都及び大阪府で開催された『高知暮らしフェア』に土佐市とともに参加し、来場者に就農等のPRを行いました。

土佐市のブースには合わせて19組20人（うち農業にかかる相談7組8人）が立ち寄り、農業改良普及課は、産地提案書を用いて産地紹介や求める人材、農業で働きたい人と農家をマッチングする『あぐりマッチこうち』等について説明しました。

面談者の中には農業担い手育成センターで2月に開催されるアグリ体験合宿を紹介したことで、後日、申込みをされた方もおり、土佐市での就農に繋がられるように、その後の状況確認等を行っています。

農業改良普及課では、今後も関係機関と連携して積極的に就農相談会等に参加し、担い手の確保に取り組んでいきます。

今年のワサビ生産は順調ですか？

～いの町吾北地区ワサビ生産ほ場の合同巡回を開催～



12月26日、吾北地区ワサビほ場の合同巡回が行われました。吾北地区の生産者5人と関係機関が参加し、11月末頃に定植したワサビの活着状態や、今後の管理方法について確認しました。農業改良普及課は、定植前の土壌調査の結果について報告しました。

参加者からは、「今年は去年に比べて苗質は良い」「事前に土壌を調べたおかげで基肥を調整できた」などの声が聞かれました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携し、ワサビの産地振興に向けた取組を実施していきます。

やるぞ！ユズ栽培

～いの町(農)上東、ユズ栽培の視察研修を実施～



(農)上東は、いの町吾北上八川地区で、水稻栽培や農作業受託をしており、令和6年3月からは新たにユズ園を改植して栽培を開始します。

そこで、農業改良普及課から視察研修の実施を提案し、1月15日に高知市土佐山地区の篤農家のユズ園を7人で訪ね、定植当年から育成木、成木、老木とユズ樹の一生を確認しました。参加者からは、防除回数や改植のタイミング、出荷方法、目標とする反収など生産から出荷まで様々な質問があり、篤農家や普及指導員等からアドバイスをしました。

農業改良普及課では、同法人が早期に安定生産でき、また、ユズ栽培の担い手となれるように、栽培技術指導等を実施していきます。